

## 神戸YWCA保育園オープン!

## 梅川 玲子 (園長)



「女性の視点」や「キリスト教基盤」に立つという理念のもとにある事業として、理事会で協議され、計画された小規模保育事業が、いよいよ子どもたちを迎えることになりました。神戸YWCAの本館1階に位置する保育園ですので、子どもたちの大きな笑い声や泣き声で活気ある会館となってくれば嬉しいのですが、小さな規模で地域に密着した、家庭的で温かい雰囲気の保育を心がけるべく、短い期間ではありましたが、準備を進めて参りました。器となる保育室がぎりぎりのタイミングで出来上がり、一から始める大変さと喜びを味わいながら、その中に多くの方々の祈りと支えがあることを忘れたことはありません。

神戸YWCA 保育園は、キリスト教精神のもとに、一人ひとりの身体と心に寄り添い、いのちを大切に保育を目指します。対象は0～2歳の本当に小さな子どもたちです。何かができるようになることを大切にすることはなく、子どもたちが愛されていると実感をもって過ごせる保育園でありたいと思っています。受け入れられる経験を積み重ね、自分が大切な存在であることをわかっていく

ことで、自らの一歩を踏み出せるように「根っこを育てる保育」をしていきたいと考えています。

もう一つの役割として、女性の自立と成長をサポートしてきたYWCAだからできる、様々な課題を抱えつつ子育てをしている方たちへの支援があります。保育園から親御さんを気持ちよく送り出し、温かく迎え入れ、声に耳を傾けることで「共に育てていく」関係を作っていきます。決して一人ではないと伝えながら、お母さんにも「あなたが大切な人」であると感じてもらえるよう、保育者全員で支えていく努力をいたします。

この神戸YWCA 保育園が、今まで長年にわたって託児や3歳児保育、産後ヘルプサービス、子育て支援グループなどで培われた神戸YWCAの力が生かされる場となるよう、また、もうひとつのおうちのようなお母さんと子どもの居場所となれるよう、これからも関心をもち、お支えください。

## YWCAは、保育だけじゃない。 子どもたちも、働きながら子育てするひと、みんながハッピーに。



写真左端から～

**坪田 美紀** (主任保育士)

子どもの笑顔は、私の心の癒しです。笑顔にあふれた保育室となりますように。どうぞよろしく願いいたします。

**小林 和代** (保育士・常勤)

子どもたちが安心して過ごせるよう、笑顔いっぱいの温かな保育に努めていきます。どうぞよろしく願いいたします。

**藤原 道子** (保育士・常勤)

まごの手でも子育て支援を担当しています。みんなが安心して自分らしく過ごせるよう笑顔で保育します♪

**山本 千代美** (保育士・パート)

今回ご縁があり、神戸YWCA 保育園で皆様・子どもたちと

楽しく過ごす機会を得ました山本です。精一杯頑張ります。

**宮田 泰子** (保育士・パート)

日本基督教団御影教会員、神戸YWCA/YMCA 会員。子どもたちの笑顔大切にしていきたいです。

**田中 明香** (調理師・パート)

保育園での仕事は初めてで不安と期待がありますが、子どもたちの笑顔と一緒に成長していきたいと思ひます。

**須山 とも子** (管理栄養士・パート)

管理栄養士の須山とも子です。小規模保育ならではの良さを活かし、きめ細かく温かい食事を提供できたらいいなと思っています。

# ある精肉店のはなし

上映と監督のトーク



さる1月30日(土)神戸YWCA本館で「ある精肉店のはなし」上映会を開催した。2回の上映後には、監督の瀬瀬あやさんのトークもあり、遠く九州から足を運んでくださる方もいた。大阪貝塚市にある、代々牛を育て、さばき、牛肉として販売してきた精肉店の家族に密着するドキュメンタリー映画だが、いのちについて、生きるということについて、深い思いめぐらしを与えられる作品だった。独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成を受け、「食を通して地域をつなぐ」事業のひとつとして実施。参加者は63人。



肉店一家の真摯な営みが実に丁寧に心温かく描かれていました。

一つのいのちは別のいのちに繋がりが、そしてそれはすべてのいのちに繋がっていくことに改めて気づかせてくれた心打たれる映画でした。(シニア・女性)

お肉にするという全ての工程をやって

おり、その様子にはとても衝撃を受けました。身体的にも精神的にもかなりきついものだと思いますが、仕事をしている雰囲気はとても和やかで、この映画を見たからもうお肉は食べられないという気持ちにはなりませんでした。

また、この映画は被差別部落の問題とも関連していて、とても考え深い映画でした。心温まるとともに、当たり前のことを改めて気づかされる、ぜひ見てもらいたい映画です。(大学生)

## ～参加者の感想～

● この映画の冒頭シーンは、「食べられるいのち」と「食べるいのち」があることを衝撃的に映し出して始まります。私たちは他の生き物のいのちを奪って生きていることを漠然と分かってはいるのですが、大きなショックでした。

しかしその後、一見いのちの中に二つの区別があるかのように見えるこの二つのいのちと真剣に向かい合い、共に生きている北出精

● 私がこの映画を見て感じたことは、動物を生きている姿から食べられる状態、つまり商品にするという仕事をしている人がいるから、私たちはいつでもお肉を食べられるのだということです。とても当たり前のことですが、普段は忘れてしまっていることなのではないかと思いました。

映画に出てくる北出さん一家は、牛を育て、ノッキングという方法で気絶させてから解体し、一枚一枚の

● 祭の他にも、屠殺、太鼓づくり、様々な技が作中にはたくさん出てきました。太鼓の皮の張り方、打ち方ひとつにしても、伝統があり、技術があり、そこには魂がこもっているように感じられます。失われていく地域社会の中で、どのように、このような想いを引き継いでいけばよいのでしょうか。そんなことを深く考えさせられました。(大学生)

## ● 第96回 神戸YWCA 定期会員集会

この国の行く末を想い、学び、行動した年でもあった神戸YWCA会員集会が3月12日(土)34人の会員の出席により開催された。

開会礼拝では柴田富士子さんからその若い日に会った神への信頼についてのお話をお聞きすることができ励まされた。

理事会からは昨年来懸案であった新規事業として女性の自立と社会参加を促進し、子どもの成長を支援する小規模保育事業を開始することが、また今年も助成金を得て分室において「食」を通して地域をつなぐ事業を行ったことが報告された。

議事においては会員活動の1年間の歩みを振り返り、また次年度の目標やビジョン、計画案などが協議さ

れた。特に近年の会員数減少に伴う運営委員の定数削減のための会則改正が行われたが、2016年度に向けて会員を増やすための新たな取り組みが求められている。

また次年度は「希望はわたしたちを欺くことはありません(ローマの信徒への手紙5章5節)」の標語聖句

が選ばれ、それぞれの活動に生かされていくこととなった。

ランチをはさんだ午後の部では「小規模保育を知ろう!」と保育スタッフからその思いや取り組みを聞き、神戸YWCAの新たな事業のスタートを共にするよい機会となったことを感謝したい。(宮田 泰子)

### 神戸YWCA ビジョン 平和・地域・女性

- ・非核・非暴力による平和をつくる。
- ・憲法をまもり、世界に広める。
- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す。
- ・若い女性が社会変革する力をつける。

### 2016年度 神戸YWCA 活動目標

誰もが関わりやすい開かれたYWCAになる。

### 2016年度 神戸YWCA 運営委員

梅澤昌子、小川佐由理、小野木愛、掛橋智佳子、鶴崎祥子、野村春美、宮田泰子

- 会長 鶴崎祥子
- 副会長 小川佐由理
- 宮田泰子
- 書記 掛橋智佳子
- 野村春美
- 会計 梅澤昌子



## ピース・ブリッジ学習会 「生きにくい社会の構造 —安保、TPP、そして食—

3月18日(金)、元町のこうべまちづくり会館で学習会を催した。

講師は「自由と平和のための京大有志の会」の藤原辰史さんで「血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、血を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい」など、詩の形をした素晴らしい声明を書かれた方である。

会の初めにまず、その声明と、子どもバージョンの「わたしの『やめて』」を、ことば工房の岩佐光世さんと関岡直江さんに朗読していただいた。お二人の朗読は力強く、会場に居る人々の心に刻まれたと思う。

藤原さんは農業史がご専門で、ナチズムの研究もされてきた方なので、歴史から学ぶことの重要性、多角的に物事を見ることの大切さを示してください。「学問はすべてを疑うことから始まる」、「一つのことばかり見つめていると、他の重要なことを見失うことがある」などの言葉も心に残った。

松蔭女子学院大学の池田清さんからも、神戸の都市問題について少しスピーチしていただいた。

私たち一人ひとりが学びを深め、社会状況を的確に捉え、自身の考えと自分の言葉を持つことが大切だと、お二人のお話を伺ってあらためて思った。

ピース・ブリッジは様々なグループをつなぐ「橋」でありたいと願っているが、今回の学習会でも神戸学生青年センター、KOBEピースiネットと協力できたことを感謝している。今後も「平和な橋」を繋ぎつつ、学びの場を創っていきたいと思っている。

(寺沢 京子)



ピースブリッジ学習会の様子

## 世界祈祷日

3月4日(金)、日本聖公会神戸聖ミカエル教会で、世界祈祷日の礼拝がもたれた。今年はキューバから「子どもを受け入れなさい。そしてわたしたちも」という主題が与えられた。

礼拝の前に、まずキューバから送られてきたスライドでキューバの国

の様子を分かち合った。礼拝は祈祷日の冊子に基づき進められ、神戸聖ミカエル教会の上原信幸司祭からメッセージをいただいた。参加者は160人だった。

来年からは各団体の持ち回りではなく、実行委員会を立ち上げ、協力して運営することになった。

(野村 春美)

## 世界YWCA デイ 2016

聞いてみタイ!?  
食べてみタイ!?  
見てみタイ!?

### 「世界YWCA 総会 in タイ」

今年の世界YWCA デイは、2015年にタイで行われたYWCA 世界総会に参加した京都YWCA 職員、堀部碧さんをお招きします。タイのこと、タイでの総会のこと、また、世界で直面している問題などについてお話しいただきます。「一緒に活動する仲間」としてお互いのリーダーシップを称えあう昼食会を実施します。ぜひご参加ください!

日時: 4月16日(土) 13:00~14:30

場所: 神戸YWCA 5階チャペル

参加費: 1,500円(タイ料理付)

主催・お問い合わせ: 国際相互支援部



### 世界YWCA デイとは?

世界125カ国のYWCAで活動する女性や少女たちが、正義、健康、人間の尊厳、自由、環境問題について「一つのグローバル(世界的)な運動」に参加しているということを再認識し、ともに女性たちのリーダーシップを称える日(4月24日)として1947年に始まりました。

10年前、自らの被爆体験をもとにアメリカで、生涯を反核兵器、平和活動に投じてきた、私の広島女学院高校時代の友人、田村秀子さんと彼女が所属する米オレゴン州のローグバレー平和合唱団が来日、神戸栄光教会で演奏会を開いたとき、神戸YWCAの皆さんに大変お世話になりました。美しい折鶴のレイをプレゼントしていただいたことは忘れられない思い出です。これまでのYWCAの活動を通して、一人の力は弱くても、手と手を合わせれば、何かできることを学びました。よき友との出会い、学ぶことの楽しさ、行動することの勇氣。これからも、平和のため、よりよき社会のため、日々、新たに歩んで行きたいと思っています。

(篠原悦子)



私と神戸YWCAとの出会いは、結婚して、神戸に移り住んだ年から。はや、60年近く、楽しい思い出、嬉しい経験を積み重ねてきました。まだ、子どもが小さく、上筒井の本館まで通うのは困難だった頃、当時、総幹事だった浮田由子さんの提案で、舞子に最寄会を発足させました。月1回の聖書勉強会、月1回のケーキ作りや手芸、夏はキャンプ、冬はクリスマス。春夏2回の母親教室など。私たちも若く、エネルギーにあふれていました。

● 讚美歌を歌おうかい

4月7日(木)・5月12日(木)  
15時～16時  
参加費 500円(1回)

● 聖書を読む会

4月7日(木)・5月12日(木)  
13時30分～15時  
参加費 500円(1回)

● 文学講座

『徒然草』を読む  
4月19日(火)・5月17日(火)  
13時30分～15時30分  
参加費 500円(1回)

● 中国医療気功(学院文化教養コース)

4月19日(火)～9月20日(火)(前期)  
14時～15時30分  
受講料 9,828円(税込)

本館

● ちゃいやあらんど

「みんなで子育てを楽しもう！」  
がコンセプト。ママと子どもたち  
(0歳～幼稚園前)のグループ。  
4月6日(水)・20日(水) 11時～15時  
参加費 100円(1回)

● カフェもぐもぐ

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。  
4月28日(木)13～15時 \*5月からは第1土曜。  
参加費 300円(茶菓付) \*ランチ(別料金)も  
提供可(要予約)。詳しくはお問い合わせください。

● 認知症サポーター養成講座

講座を修了すると認知症サポーターの印、オレンジリングが配布されます。  
5月28日(土) 14時～15時  
参加費 無料(神戸YWCA分室へ要申込)  
お問い合わせ：カフェもぐもぐ

分室

会費納入の  
ご案内

2016年度(2016年4月～2017年3月)会費・会友費のお支払いをお願いいたします。  
2015年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

\*特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「年会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。



入札参加資格審査。2月8日(第7回)工事入札予定価格を決定。2月8日(第8回)工事請負業者を決定。3月5日(第9回)2016年度の事業計画案と予算案について協議。3月28日(第10回)2016年度事業計画と予算を決議。

2月8日保育園工事入札、丸公建設株式会社に決定。2月9日より着工、3月28日竣工。 (寺内 真子)

● 新入会友

伊藤 朝日太郎 (敬称略)

● 賛助員

永田 健支 永田 俊子(敬称略)

● 訃報

会員で元神戸・福岡・名古屋YWCA 総幹事をされた湯口恵さんが3月3日亡くなりました。享年81歳でした。

● 編集後記

桜のたよりとともに保育園がオープンしました。みなさん、見に来てください。(Y・K)

■ 学院だより

日本語コースは、3月4日にレギュラークラスが修了。初級・中級各5人がそれぞれ伝えたいことをスピーチし、修了証書授与式も行なった。2016年度は中級クラス2クラス開講を目指して準備を進めている。

2016年度も兵庫県委託の職業訓練、文化庁委託事業の受託が決定。

日教養コースでは日本語教師実習講座(中級)を開講し、2回の実習を含め、3人が修了した。(原田 雅子)

■ まごの手だより

神戸YWCA まごの手は住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう支援している。また、在宅ホスピスケアも研修を重ね、職員のレベルアップに努めている。ご相談は2階の事務所へ。

要支援の予防給付のうち訪問介護、通所介護が、平成29年度から、市町村が地域の实情に応じて取組める介護保険制度の地域支援事業へ移行される。

生活援助は既存のサービスに加えて、NPO法人、ボランティアの方などを活用して高齢者を支援する。

通所介護は既存のサービスと居場所が必要になってくる。神戸YWCAの分室の活動と連携を取り、共に活動していきたい。(松田 恵美子)

■ 分室だより

2015年度もWAM(独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業)の支援を受け、「食を通して地域をつなぐ」というテーマのもと、様々な活動に取り組むことができた。WAM事業の醍醐味は、活動を行うことに加えて、地域組織や社協、地域の諸団体、新しいボランティアや協力者との協働を求めるところにあり、その意味で、否が応でも分室を外に開いていくよう押し出されていったような1年だったと思う。

それを一番に表しているのが、分室の待ち合いスペースのリニューアルである。分室は「自分たちの場所」である以上に、地域のまだ出会っていない方々のために開かれた場所なのだ、ということをもさらに発信していきたい。(西本 玲子)

■ 運営委員会報告

(2月)【報告】▶小規模保育園について▶WAM事業関連①映画会「ある精肉店のはなし」②未来を創るピースフォーラム③市社協による宮本地区におけるボランティア講座。【議事】定期会員集会▶新グループの承認▶新旧運営委員引き継ぎについて▶新しい会館の使い方▶分室バザー。(野村 春美)

■ 理事会報告

1月23日(第6回)神戸YWCA 保育園施設改修工事の

分室わいわいバザー

3月26日(土)、晴天に恵まれ、12時から3時までの短時間で、ボランティアを含め約120人の来場があり、目標額20万円を越える収益を得た。ガレージスペースでのカフェや展示、改装してオープンになった売場、外の販売ブースなど、外に開かれたバザーだった。(谷合 公江)



**ゴーフル®**  
いいものは時代をこえて  
生き続けます

**神戸且月堂**

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555  
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

**(有) 佐野葬祭**  
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに  
**0120-592-392** (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます  
尼崎市潮江4丁目2-2  
URL: <http://sanosousai.com>